

令和7年5月28日に熱中症予防対策パトロールを実施しました。



令和7年5月28日（水）
株式会社竹中工務店 東京本店（仮称）住友不動産芝二丁目計画でパトロールを行う
川又労働基準部長（中央左）と竹永作業所長（中央右）

東京労働局（局長 富田 望）は、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の期間（令和7年5月1日から令和7年9月30日まで）において、職場における熱中症予防に向けた取組を行っています。

令和6年の東京都内の職場における熱中症による休業4日以上の死傷者数は106人、死亡者数は4人で、このうち建設業は、死傷者数は22人、死亡者数は3人と、業種別では最多となっています。

そのため、重点対象である建設現場に対し、労働基準部長による熱中症予防対策パトロールを行いました。



～STOP!熱中症 クールワークキャンペーンを実施中です～



当該作業場の熱中症予防対策の説明を行う竹永作業所長



暑さ指数計で WBGT 値を確認している川又労働基準部長
(WBGT 値 28 度に達したことを確認)



工事現場内に設置されたクールダウンスペース



屋外ではミスト付き扇風機が稼働していた



警備員が利用する休憩設備



工事現場内に配置された製氷機、給水機等



手のひらの冷却を行うための氷水入り手桶



作業員に激励メッセージを送る川又労働基準部長



決意表明を行っている板垣会長（職長会会長）



閉会の挨拶を行う木村総括作業所長